

スクールトピックス



湖岸に漂着した水草を回収する生徒

中学生が天神浜で水草回収作業

町内3中学校の生徒と猪苗代ライオンズクラブは10月8日、猪苗代湖の天神浜で湖岸に漂着した水草の回収作業を行いました。東中の全校生徒と猪苗代中・吾妻中の1年生の合わせて約160人が参加し、湖岸に打ち上げられた水草約10トンを回収しました。

猪苗代中1年生の五十嵐永遠さんは「想像していたよりも水草が多くて驚きました。猪苗代湖の水がきれいになってほしいです」と感想を話しました。

ひまわりこども園・防火ぬり絵

猪苗代消防署では、秋の全国火災予防週間の一環として11月9日から15日まで、学びいなどで児童防火ぬり絵作品を展示しています。子どもたちに火災予防の精神を養ってもらうことを目的として行われ、ひまわりこども園とさくらこども園の年長児の作品約90点が展示されています。

ひまわりこども園では10月11日、ひまわり組の園児がぬり絵を行い、色鮮やかな作品を完成させました。



防火ぬり絵作品を仕上げるひまわりこども園の園児

さくらこども園・手洗い教室

さくらこども園の手洗い教室は10月8日、同園で開かれ、さくら組(年長)の園児約20人が参加しました。花王グループが子どもたちに新しい衛生習慣を身に付けてもらおうと企画し、同社社会コミュニケーション部門の山崎浩子さんがオンラインで園児に手の洗い方や正しいマスクの着用方法などを指導しました。

園児たちは「あわあわ手あらいのうた」の音楽に合わせて、楽しく手洗い方法を学びました。



オンラインで手洗い方法を学ぶ園児

県中学校駅伝競走大会

第64回県中学校体育大会駅伝競走大会は10月5、6の両日、榊葉町総合グラウンド内駅伝コースで開かれ、本町から猪苗代中学校の男女と東中学校の女子の合わせて3チームが出場しました。

5日に行われた女子の部では、東中学校が総合で7位に入賞。翌日に行われた男子の部では総合での入賞は逃したものの、猪苗代中学校3年生の吉野心人選手が3区(2.9㌔)で8分57秒を記録し、区間賞に輝きました。



7位入賞を果たした東中学校の選手ら

ホットニュース

ISホールディングスと連携協定

町の特色を生かし、連携を強化しながら地域の活性化を目指す



協定書を交わした前後町長と遠藤社長(右)

町とITや金融事業などを展開するISホールディングス(東京都)は10月1日、地域活性化と自然資源の保全・活用についての包括連携協定を締結しました。

連携内容は、スキー場や観光農園の整備、自然資源を生かした再生可能エネルギー、猪苗代駅前の活性化、中ノ沢温泉の振興などの6項目です。同社の子会社は、昨年10月に猪苗代スキー場を取得して運営しており、今後はスキー場以外の分野でも町と連携を図りながら地域活性化に取り組みます。

締結式は同日、町役場で行われ、前後公町長と同社の遠藤昭二社長(猪苗代町出身)が協定書を交わしました。式では、前後町長が「行政と民間の双方の強みを生かし、地域の活性化に取り組みたい」とあいさつ。遠藤社長は「観光と農業、温泉が結びつくような事業を展開し、地域全体の活性化を目指したい」と話しました。

地域おこし協力隊通信

私たちが地域を元気に！
地域おこし協力隊

小林 澄子さん

主な活動内容：観光振興



昨年6月から地域おこし協力隊として商工観光課で活動を開始し、約1年半が経ちました。

今年度の大きな取り組みとして、中ノ沢こけしを活用した観光振興と中ノ沢こけしを次の100年につなげる文化振興という二つの活動を軸に、町内の有志と「中ノ沢こけしプロジェクト実行委員会」を立ち上げ、10月17日(日)に中ノ沢こけし祭りを開催しました。当日は雨の中、多くのお客様にお集まりいただき、イベントは大盛況でした。

来年は、中ノ沢こけしの中でも独特の表情が人気の「たこ坊主」の生みの親である岩本善吉が中ノ沢に移ってから100周年を迎えます。今年のイベントで出た課題を改善し、猪苗代町や中ノ沢温泉、中ノ沢こけしをこけし祭りですさらに盛り上げたいと思っています。

中ノ沢こけしの修行は、親方である工人の柿崎文雄さんに色々教わりながらコツコツと進めています。引き続き工人修行も頑張ります！